

イコライザーの設定

イコライザーの用途

【用途①】楽曲全体の周波数バランス調整

- ✓ ミキシングに戻れない場合
- ✓ 音圧アップによって周波数バランスが変わってしまった場合
- ✓ 複数曲のカラーを統一したい場合

【用途②】特定の楽器の出し入れ

- ✓ マスタリング時に特定の楽器を出し入れすることも
- ✓ コンプやリミッターの影響で特定のパートが引っ込んでしまった場合など
- ✓ 1用途1EQがおすすめ

イコライザーの設定例①: 全体の周波数バランス調整



イコライザーの設定例②: キックの存在感アップ

ダイナミックEQを使用。キックの芯にあたる帯域をしっかりとブーストした上で、アタック遅め&リリース早めのコンプで輪郭を出す。



イコライザーの設定例③: スネアの存在感アップ

ダイナミックEQを使用。スネアのボディ及びアタック成分を持ち上げる。
イコライザーによるブーストは行わず、エクスパンダーの要領でスネア演奏時のみ作動。



イコライザーの設定例④: ヴォーカルの存在感アップ

通常のパラメトリックEQを使用。
中高域を軽くブーストし、グッと前に迫り出してくる印象に。

